【がん種】 多発性骨髄腫
【レジメン名】 DMPB②2～9コース目
【登録番号】 011346
【1コースの期間】 3週間
【総コース数】 8コースまで(DMPB①1コース目 終了後から開始し、SD以上の効果が得られた場合にはDMPB③10コース目～ を施行する)
【催吐性リスク】 軽度:DMPB
【抗がん剤の組織障害性】 イリタント(炎症性):ベルケイド、ノンビシカント(非壊死性):ダラザレックス
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 編集中

【必要な検査】 編集中
【根拠論文】 N Engl J Med 378:518-528, 2018.
【点滴の時間】 [day1]初回 約8時間50分, 2回目 約6時間20分, 3回目～約5時間30分
【費用】 編集中
【その他】 ダラザレックス:正式採用品ではないため「限定使用薬品申請書」の薬剤部への提出が必要. 調製後15時間以内に投与を終了する.
治療開始前に間接クームス試験を実施する(最終投与から6ヵ月後までは、検査結果が偽陽性になるおそれがあるため).
ベルケイド:調製後8時間以内に投与を終了する.

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日											
					1	2	3	4	…	8	…	22	…	29	…	42
1	アシクロビル錠 200mg	2 錠/回	内服	1日1回朝食後	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ＆フラッシュ	○							○				
3	アセトアミノフェン錠 200mg	4 錠/回	内服	1日1回 ダラザレックス投与1時間前	○							○				
4	生理食塩液 50mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL ポララミン注 5mg/1mL	1 B 3 V 1 A	側管	全開 開始時にアセトアミノフェン内服	○							○				
5	生理食塩液 100mL	1 B	側管	1時間	○							○				
6	生理食塩液 1000mL ダラザレックス点滴静注 初回 50mL/hで開始し、1時間毎に50mL/hずつ速度を上げ、最大200mL/hまで	1 B 16 mg/kg	側管	フィルター使用 全量1000mLに調製	○ 初回											
7	生理食塩液 500mL ダラザレックス点滴静注 2回目 50mL/hで開始し、1時間毎に50mL/hずつ速度を上げ、最大200mL/hまで 3回目～ 100mL/hで開始し、1時間毎に50mL/hずつ速度を上げ、最大200mL/hまで	1 B 16 mg/kg	側管	フィルター使用 全量500mLに調製	○ 2回目～							○				
8	生理食塩液 20mL ベルケイド注射用 調製開始から8時間以内に投与終了	1 A 1.3 mg/m2	皮下注	2.5mg/mLの濃度に調製 27Gの針 腹部、大腿部	○					○		○		○		
9	アルケラン錠 外来の場合は1日目のみ夕食前服用	9 mg/m2	内服	1日1回朝食前	○	○	○	○								
10	プレドニン錠 5mg	60 mg/m2	内服	1日1回朝食後		○	○	○								